

CONTENTS

- ①～② 令和2年度
研究体制とミッション
- ②～④ 情報ひろば
- ⑤ HAT神戸掲示板
- ⑥～⑧ 人と防災未来センター
MiRAi

令和2年度 研究体制とミッション

(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構研究戦略センターの令和2年度研究体制をご紹介します。
研究調査部では防災・減災のまちづくりや共生社会づくりに資するとともに、21世紀文明のあり方
について研究し、国内外の政策形成につなげる情報を発信すべく、研究調査活動を展開しています。

研究テーマと担当研究員

南海トラフ地震に備える政策研究

主任研究員 磯村 和樹・山村 奈津子・劉 雯・吐合 大祐・平石 知久

この研究会では、今後30年以内に70～80%の確率で発生するといわれている南海トラフ巨大地震に備えるために、具体的な事前対策や復興政策のあり方を提言することを目的としています。そのために、「被災社会」とそれを支える「国と社会」の双方の観点から、6つの研究会に分かれ、震災後の復興組織・体制や、そこでの民間との連携、復興財源確保、被災者の生活再建、コミュニティや住宅の再建のあり方など多分野にわたって体系的に研究を行っています。



磯村主任研究員



山村主任研究員

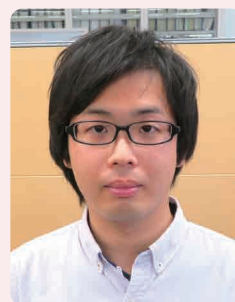
広域経済圏活性化による経済成長戦略

主任研究員 吐合 大祐・平石 知久

本研究会は、阪神・淡路大震災以降低迷が続く兵庫県経済の復活を目指し、地域と国全体の経済に活性化をもたらす新たな政策モデルを提案することを目的としています。本研究会では、京阪神地域の広域経済圏のあり方を中心に、企業誘致や立地促進、産業育成といった地域経済の活性化政策を検討するだけでなく、産学官が連携した新たなアクションプランを策定・提案することを目指しています。



吐合主任研究員



平石研究員

東日本大震災復興の総合的検証～次なる大災害に備える～

主任研究員 石塚 裕子・吐合 大祐

本研究は3年間の調査期間を終えて、本研究の成果報告書を基に東日本大震災から10年の節目となる2021年初頭の発刊をめざして一般書籍化の作業を進めています。成果報告書では6のテーマ（「防災・減災を基盤とした復興思想」、「被災特性に応じた復興政策」、「住民による自律的復興と復興政策の役割」、「復興政策を展開する市町村の能力強化」、「国や県による被災市町村への支援」、「次なる災害に向けての記憶と伝承」）にわけて43の政策提言を行いました。



石塚主任研究員

ソサエティ5.0(AI・ロボット社会)に向けた制度設計

主任研究員 劉 雯・平石 知久

これまで、出生率の低迷と支援策、高齢者の貯蓄と就業の状況、高齢者の健康の状況、育児や介護などの制約を抱える者の就労環境を整える取り組み等を分析し、深刻化する少子高齢化に直面する日本やアジア諸国における新たな制度設計を検討してきました。その解決の方向性として、AI・ロボット・IoTなどの活用による人間中心の社会の実現を目指すソサエティ5.0に向けた政策課題や兵庫県の長期ビジョンの諸課題解決に資する調査分析を行うことにしています。これまでの研究成果を踏まえて今年度は課題を絞り込んだ上で予備的調査を開始します。



劉主任研究員

情報ひろば

研究戦略センター

「ひょうご講座2020」開催のご案内

■一般コース

（公財）ひょうご震災記念21世紀研究機構では、大学、研究機関等とのネットワークのもと、テーマ性を明確にして、県民に学術的かつ専門的な大学教養レベルの連続講座による高度な学習機会を提供します。

●開講分野等

分 野 名	開 講 時 期
防災・復興－激甚化する自然災害に備える	9月7日(月)～11月27日(金)
地域創生－人口減少・高齢化社会における健康で豊かな地域づくり	9月9日(水)～11月11日(水)
国際理解－米中対立と世界情勢の行方	9月4日(金)～11月25日(水)

●回 数＝10回(1分野)

●開講場所＝兵庫県民会館(神戸市中央区下山手通4-16-3)

●開講時間＝平日18:30～20:00

●受講料＝15,000円(1分野)

●定 員＝約40人(1分野)

※各分野の開講日等詳細については、後記「ひょうご講座」ホームページでご確認ください。

《内容の紹介》

『防災・復興－激甚化する自然災害に備える』

近年、全国各地で極端な集中豪雨が発生するなど、地球規模の気象変動がもたらす災害の激甚化が懸念されています。加えて、新型コロナウイルス感染症によるパンデミックは、避難などをめぐり新たな課題を提起しています。

増大する災害のリスクとはいかなるものか、それに対して、私たち一人ひとりや地域社会は、どのように向き合い、いかに備えるべきか、様々な角度から考えます。

『地域創生－人口減少・高齢化社会における健康で豊かな地域づくり』

人口減少、高齢化に伴い、地域の活力の衰退が懸念されるなか、様々な分野にわたり社会システムの再編が求められています。こうしたなか、新型コロナウイルス感染症によるパンデミックは、私たちの働き方や暮らし方、過度の都市集中、医療体制や経済活動のあり方など多くの課題をもたらしています。新たな時代にふさわしい豊かな地域社会の構築に向けて、どのような取り組みが求められるのか、具体的な実践事例も踏まえつつ、今後歩むべき進路について考えます。

『国際理解－米中対立と世界情勢の行方』

米中関係の構造変化を背景とした両国間の対立は、貿易問題からハイテク分野での覇権争いへと拡大し、その激化や長期化が懸念されています。また、新型コロナウイルス感染症によるパンデミックは、国際情勢や世界経済に大きな影響を及ぼすことが懸念されます。混迷の度を深める国際社会の行方について、米中対立に焦点を当てつつ考えます。

■リカレントコース

AIやICTが急速に進化し社会が大きく変化するなかで、現役の社会人等の専門的な学び直しの機会を設け、キャリアアップや企業・転職に向けたセカンドキャリア構築の一助とするため、新たな時代の経営戦略や高度なデータ処理や分析力などを習得するための入門講座を開設します。

●開講分野等

分 野 名	開 講 時 期
経 営 戦 略－理論と実践の融合により、これからの経営を考える	9月10日(木)～10月8日(木)
データサイエンス－ビッグデータ、AIとその周辺を読みとく	9月15日(火)～12月8日(火)
AI活用実習－AI活用のための基礎技術とその応用を学ぶ	11月5日(木)～12月3日(木)

●回 数＝5回または10回(1分野) ●開講場所＝兵庫県民会館(神戸市中央区下山手通4-16-3)

●開講時間＝平日18:30～20:00 ●受講料＝7,500円(5回・1分野)、または15,000円(10回・1分野) ●定 員＝約20人(1分野)

※各分野の開講日等詳細については、後記「ひょうご講座」ホームページでご確認ください。

『内容の紹介』

『経営戦略－理論と実践の融合により、これからの経営を考える』

新型コロナウイルスの影響もあって、経営や働き方についても大きく変化しつつあります。こうした変化を見据えつつ、マーケティングや会計学といったMBA(経営学修士)教育の中核科目について学ぶことにより、みずからの事業を見つめなおし、経営能力の向上をめざします。

『データサイエンス－ビッグデータ、AIとその周辺を読みとく』

情報科学技術のめざましい進歩は、社会のあらゆる領域に多大な影響を与えています。とりわけ、ビッグデータ、人工知能(AI)などの活用が注目されています。新型コロナウイルス感染症によりこうした動きがさら加速することが想定されるなか、これらの技術はどのようなものなのか、どのように展開されていくのか、関係諸分野を含めて学びます。

『AI活用実習－AI活用のための基礎技術とその応用を学ぶ』

ビッグデータの普及を背景にAIは急速に進化し、次世代産業などを担う原動力として注目を集めています。こうしたなか、AI活用で多用されるプログラミング言語Pythonによる機械学習プログラミングに取り組みます。PCを使った実習を通して、実際に手を動かして機械学習プログラムを体験することで、その基本技術に対する理解を深め、今後の応用につながる実践的な知識や技能を身につけます。

応募方法

- 募集締切＝一般コース:9月1日(火)、
リカレントコース:9月7日(月)必着
(「AI活用実習コース」については、10月29日(木)必着)

※先着順に受け付け、定員になりしだい締め切ります。

※インターネット、FAX、郵送で受付

※新型コロナウイルス感染症の状況によっては、事業内容を変更したり取り止めたりする可能性があります。

●申し込み・問い合わせ

(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構
研究戦略センター 交流推進課 ひょうご講座担当

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2

人と防災未来センター東館6階

TEL 078-262-5713 FAX 078-262-5122

<http://www.hyogo-al.jp/kouza/>

ひょうご講座 検索

こころのケアセンター

令和2年度第1期「こころのケア」研修の受講生募集

兵庫県こころのケアセンターでは、「こころのケア」に携わる保健・医療・福祉・教育等の分野で活動されている方を対象に、各種課題への対処法等について学ぶ「こころのケア」研修を実施しています。

9月から10月にかけて実施する研修の受講生を次のとおり募集しています。ぜひご参加ください。

●研修概要

区分	コース名	期間	定員	対象	受講料 (資料代等)
専門研修	DV被害者のこころのケア	9月16日(水)	35名	母子自立支援員、女性相談員(婦人相談員)、婦人保護施設職員、母子生活支援施設職員、家庭問題相談員、保健師、福祉事務所職員、こども家庭センター(児童相談所)職員等DV被害者相談支援関係職員	2,500円
	被災者や被害者を支えるために -サイコロジカルファーストエイドを学ぶ-	9月17日(木) 9月18日(金) (2日間)	25名	学校・社会福祉協議会・病院等の精神保健福祉関係者	4,100円
	被害者や被災者の中長期の回復を支える こころのケア -サイコロジカル・リカバリースキル(SPR)-	9月30日(水) 10月1日(木) (2日間)	35名	医師、公認心理師、看護師、保健師、精神保健福祉士、その他関連領域の関係者	3,600円
	犯罪被害とこころのケア	10月15日(木) 10月16日(金) (2日間)	25名	保健・医療・福祉・教育・司法・警察・消防関係等職員	4,100円

●場所＝兵庫県こころのケアセンター

●申し込み方法＝受講申込書(※)に必要事項を記入の上、郵送・FAX・Eメールで下記申し込み先までお送りください。

申込者多数の場合は、各研修開始日の1か月前(前月の同じ日)の17時を期限として、初めての受講の方を優先の上、抽選で受講者を決定します。

※当センターホームページよりダウンロードできます。

新型コロナウイルス感染症の今後の動向によって、中止または延期する場合があります。

その際は、お申し込みいただいた方に、電話、メール等でお知らせすると共に、ホームページ(<http://www.j-hits.org>)でご案内します。

●申し込み・問い合わせ

(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構 兵庫県こころのケアセンター 研修情報課
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-3-2(阪神「春日野道」駅から南へ徒歩約8分)
TEL 078-200-3010 FAX 078-200-3017 Eメール kensyu@j-hits.org
<http://www.j-hits.org/>

情報誌やwebサイト、ロゴ制作など、
広報戦略・ブランディングの
ご相談を承ります

IDÉE INC.

株式会社 イディー
〒650-0033
兵庫県神戸市中央区江戸町85-1
ベイウイング神戸ビル10F
Tel.078-331-5255 Fax.078-331-7800
E-mail: info@idee-kobe.com イディー 神戸 検索

コミュニティ型ワークスペース
「ON PAPER」はじめました!



ON PAPER

<https://onpaper.jp>

ONPAPER 検索

兵庫県立美術館

特別展「ミナ ペルホネン／皆川明 つづく
minä perhonen / minagawa akira TSUZUKU」

[参考図版] 本展東京会場「実」セクション 撮影：吉次史成

はじまり おわり すすみ もどる 心と象のつくるとつづく
beginning, ending, enhancing, returning, mind and shape,
circle of creation goes on...

デザイナーの皆川明(1967-)が設立したブランド、ミナ ペルホネン。流行に左右されず、長年着用できる普遍的な価値を持つ「特別な日常服」をコンセプトとし、日本各地の生地産地と深い関係性を紡ぎながら、オリジナルの生地からプロダクトを生み出す独自のものづくりを続けてきました。

皆川がミナ ペルホネンの前身となる「ミナ」を立ち上げたのは1995年。「せめて100年つづくブランドに」という思いでファッションからスタートした活動は、その後、インテリアや食器など次第に生活全般へと広がり、現在ではデザインの領域を超えてホスピタリティを基盤にした分野へと拡張しています。そのたゆまぬ歩みは、2020年に25周年となります。

本展覧会の「つづく」というタイトルは、文字通りブランドの時間的な継続性を示すものですが、それだけでなく、つながる・連なる・手を組む・循環するなど、モノや人が連鎖し何かを生み出していく生成のエネルギーを想起させる言葉でもあります。

多義的な意味をもつ「つづく」をキーワードに、本展覧会では、生地や衣服、インテリア、食器等のプロダクトに加えて、デザインの原画、映像、印刷物、皆川明の挿絵など創作の背景を浮き彫りにする作品群や資料も併せて展示いたします。

ミナ ペルホネンと皆川明のものづくりとその思考をこれまでにない規模で紹介する本展覧会は、私たちの日常生活やその先にある社会の仕組みについて新たな視点と示唆をもたらすことでしょう。

■会 期＝7月3日(金)～11月8日(日)
※会期は、6月27日(土)～8月16日(日)から変更になりました
※日時指定による事前予約制での入場となります。詳しくは展覧会特設サイト(<https://mina-tsuzuku.jp/>)をご覧ください

■観覧料金＝一般1,400円、大学生1,000円、70歳以上700円、高校生以下無料

2020年度 コレクション展Ⅰ

特集「動く!美術—動きはどう表現されてきたか—」

「特集」では、美術の中の「動き」に着目します。動き回る人物や動物、多様性に満ちた自然の営み—本来「動かない」美術においてこれらの動きはどのようにとらえられているのでしょうか。絵画や立体作品における「動き」の表現について考えます。そのほか、館所蔵の版画、彫刻、洋画、日本画も展示、「小磯良平記念室」「金山平三記念室」での展示もあわせ、当館の多彩なコレクションを紹介します。

篠内佐斗司
《犬モ歩ケバ》1989年

■会 期＝3月20日(金・祝)～9月22日(火・祝)
前期:3月20日(金・祝)～7月5日(日)
後期:7月11日(土)～9月22日(火・祝)
※7月6日(月)～7月10日(金)は展示替えのため休室
※前期の会期が3月20日(金・祝)～6月28日(日)から変更になりました。それにともない休室期間も変更となりました。

■観覧料金＝一般500円、大学生400円、70歳以上250円、高校生以下無料

【小企画】「美術の中のかたち—手で見る造形—東影智裕展」
※開催を予定していましたが、開催延期になりました(来年度開催予定)

◎休館日＝月曜日(ただし8月10日(月・祝)、9月21日(月・祝)開館、8月11日(火)、9月23日(水)休館)

◎開館時間＝10時～18時(特別展開催中の金曜・土曜は20時まで)

※入場は閉館の30分前まで

※新型コロナウイルス感染防止のため、開催の期間や時間を変更する可能性があります。最新の情報は兵庫県立美術館のホームページでご確認下さい。

TEL 078-262-0901(代) <https://www.artm.pref.hyogo.jp/>

日本赤十字社 兵庫県支部

日本赤十字社兵庫県支部は、
今年8月に創立130周年を迎えます

皆様のご支援のもと、災害救護、国際救援、講習普及、青少年赤十字、ボランティア活動などの「いのちと健康を守る」事業に取り組んでいます。

今年は新型コロナウイルス感染症により、様々な事業が中止または延期となっており、なかなか皆さまとお会いできる機会がありませんが、新しい生活様式を考慮しつつ、できることから取り組んでいきたいと考えています。

当支部ホームページにおいて、新型コロナウイルス感染症拡大抑制のための医療活動や、こころのケアなどの情報提供も行っていますので、是非ご覧ください。



ホームページ：<https://www.hyogo.jrc.or.jp/>

いのちと健康を守る赤十字活動に
ご支援ください。

<https://www.hyogo.jrc.or.jp/donate/>



◎問い合わせ
TEL 078-241-8921

赤十字 兵庫 検索



日本赤十字社 兵庫県支部
Japanese Red Cross Society

震災資料のメッセージ 「もしも、インターネットがなかったら」

「震災資料のメッセージ」は、人と防災未来センターに寄贈された一次資料(震災当時に被災したり、使用された現物)を、年度ごとのテーマに沿って紹介するスポット展示です。本年度は「もしも、インターネットがなかったら」というテーマで、震災資料を紹介します。

インターネットは、今や私たちの生活に欠かせないものになっています。現代では、災害発生時において、インターネットは最も簡単にそして素早く情報を発信し、あるいは受け取る手段として重宝されています。しかし、阪神・淡路大震災が発生した1995年当時はまだインターネットの普及率は低く、情報を得る手段として今日のように使用されていませんでした。

インターネットが私たちの身近になかった頃、人々はどのようにして情報を得ていたのでしょうか。今回のスポット展示では、阪神・淡路大震災が発生した時に使用されていた情報ツールについて紹介します。

- 期 間: 7月7日(火)～2021年5月30日(日)
- 展示場所: 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター 西館3階(有料ゾーン)
- 展示内容(展示資料)

1 ファックス

今回展示するのは、産経新聞神戸総局から寄贈を受けたFAXです。これは、阪神・淡路大震災当時、新聞社で使われていました。

震災で激しい衝撃を受けた地域では、新聞社も被害に遭い、新聞を発行することも普段通りにはいきませんでした。通信がうまく機能しないなかでは、各支社や取材先との情報を共有するため頻繁にFAXが使用されていました。



2 ラジオ

今回展示するのは、神戸市長田区にある多文化・多言語コミュニティ放送局「FMわいわい」の放送が収録された、VHSテープです。映像を録画できるVHSテープですが、このなかには、平成7年(1995年)から放送された番組の音声記録されています。当時は、放送をなるべく安く、1度に長時間記録する手段として、ビデオデッキでの3倍録画が行われていました。当センターには、およそ7年間の放送分、5681本のVHSテープが寄贈されています。



展示は、上記のとおり人と防災未来センターで行われていますが、資料に関するお問い合わせは、資料室へお願いします。(西館5階)

TEL:078-262-5058 FAX:078-262-5062

※資料室はどなたでも無料でご利用いただけます。なお、現在、新型コロナウイルス感染症予防のため、予約制でご来室いただいております。詳しくは、ホームページをご確認ください。<http://dri.ne.jp/post-17139>

新展示「『伝える』阪神・淡路大震災の教訓106」

6月2日(火)の開館再開と同時に、東館2階で「『伝える』阪神・淡路大震災の教訓106」の展示が始まりました。

この展示では、兵庫県が阪神・淡路大震災及び東日本大震災への支援を検証した成果から導いた106の教訓をまとめた刊行物「伝える 1.17は忘れないー阪神・淡路大震災20年の教訓ー」をもとに、この概要を106枚のパネルでわかりやすく掲示しています。



(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸1-5-2

観覧案内・予約／TEL 078-262-5050 <http://www.dri.ne.jp/>

開館時間

9時30分～17時30分(入館は16時30分まで)
※7月～9月は9時30分～18時(入館は17時まで)
※金曜、土曜は9時30分～19時(入館は18時まで)

入館料金

大人	大学生	高校生／小・中学生
600円(450円)	450円(350円)	無料

[障がい者]

大人	大学生	高校生／小・中学生
150円(100円)	100円(50円)	無料

[70歳以上の高齢者] 300円(200円)

※()は20人以上の団体料金

※毎月17日(休館日の場合は翌18日)は入館無料

休館日

毎週月曜(月曜が祝日の場合は翌平日)、12月31日と1月1日
※ゴールデンウィーク期間中(4月29日から5月5日まで)は無休
※資料室の開室日についてはホームページでご確認ください

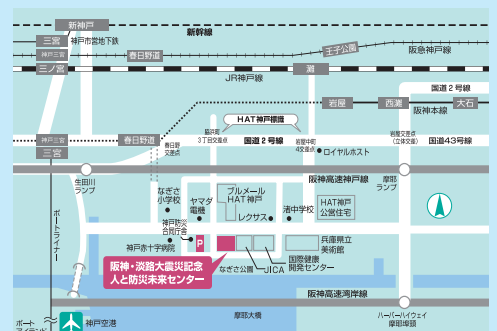
交通

鉄道 ・阪神電鉄「岩屋」駅、
「春日野道」駅から徒歩約10分
・JR「灘」駅南口から徒歩12分
・阪急電鉄「王子公園」駅
西口から徒歩約20分

バス ・三宮駅前から約15分

車 ・阪神高速道路神戸線
「生田川」ランプから約8分
・阪神高速道路神戸線
「摩耶」ランプから約4分
・阪急・阪神・JR「三宮」駅から約10分

●有料駐車場あり ●バス待機所(予約制／無料)あり



6月2日(火)から開館を再開しました

新型コロナウイルス感染症防止のため、3月3日から全館臨時休館していましたが、6月2日(火)から再開しました。一部、ご見学・ご体験いただけない展示があるほか、各シアターでは上映回数を減らすとともに、入場人数に上限を設けておりますが、通常どりの開館日・時間で運営しています。皆様のご来館をお待ちしています。

新型コロナウイルス感染予防・拡大防止対策について

ご来館の皆様にご安心してご観覧いただくため、当センターでは以下の取り組みを行っています。

- 来館者にはマスクの着用をお願いしています。
- 来館者の検温を実施しています。
- 展示室入り口付近ほか各所に消毒液を設置し、各洗面所には液体石けんを備え、来館者にご利用いただけるようご案内しています。
- ご来館の際にQRコードからメールアドレスをご登録いただきましたら、同日に来館された方が新型コロナウイルスに感染したとの報告を受けた場合、メールにてお伝えします。
- 館内のドア、手すり、エレベーター、トイレなど多くの来館者が手を触れる箇所は、消毒液などによる清掃を強化しています。
- スタッフは毎日検温し、マスク着用のうえでご案内いたします。また、こまめな手洗い、消毒液による手指の消毒を励行し、健康管理に努めます。
- 展示室内が過度に込み合わないよう、入場の制限をかけるなど館内環境に配慮します。



消毒液の設置



メールアドレス登録



Hem21 NEWS
vol.82

令和2年7月発行

(公財) ひょうご震災記念21世紀研究機構
〒651-0073
神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2(人と防災未来センター)
<http://www.hemri21.jp/>

当機構は、以下の組織で構成しています。

●管理部

TEL 078-262-5580
FAX 078-262-5587

●研究戦略センター

▶研究調査部
TEL 078-262-5570
FAX 078-262-5593

●人と防災未来センター

TEL 078-262-5050
FAX 078-262-5055

▶学術交流部

TEL 078-262-5713
FAX 078-262-5122

●こころのケアセンター

〒651-0073
神戸市中央区脇浜海岸通1-3-2
TEL 078-200-3010
FAX 078-200-3017

ニュースレターに関するご意見・
ご感想を機構までお寄せください